

大阪城ホール消防訓練

大阪城ホールの消防訓練に参加した大阪営業部の棧原さんに、感想を伺いました。

4月16日に大阪城ホールの消防訓練に新入社員4名と参加してきました。1m先が見えない中煙の充満した会議室の中からライトを持って飛び込み負傷者2名を助けるというデモンストレーションに参加したり、消火器を使った消火訓練にも積極的に参加しました。自分自身も視界ゼロの煙の中に入り本当になにも見えないので「煙に巻かれて逃げ後れる」がすごくわかりました。新入社員含め良い体験ができたと思います。



☆新人さんいらっしゃい☆

今回は大阪営業部の新入社員4名に安全勉強会や大阪城ホール消防訓練の感想を聞きました。

安全衛生勉強会の感想

安全衛生勉強会を通して「危険は常に隣り合わせであり、自ら進んで安全を作っていくべきである」と改めて考える事ができました。また、フォークリフトの講習では、運転者ではないため、私にはあまり関係のないものだと思っていた。しかし、フォークリフトの特性を知る事で、作業員としての自身の安全確保、さらに周りに対しても注意喚起ができ、とてもためになる講習でした。これから現場に出る機会も増えてきますが、今回の講習を思い返して気を付けていきたいです。

入社から約1ヶ月が経ち、現場に出させていただくことも増えてきました。

そんな中、今回東大阪で行われた安全衛生勉強会に参加させていただき、現場での朝礼や危険、もしもの時に役に立つ安全手帳のことを詳しく学ぶことができ、とても私自身のためになった機会だと思っています。今回の勉強会は「安全手帳」「朝礼」「電気」「フォークリフト」の4つの項目でした。その中でも安全手帳には、もし現場で事故があった時にどうすればよいか、あの部材はあの状況で耐えることができるだろうか、など忘れてしまいがちな役立つことをすぐに確認でき、常に所持しておくことが重要だと改めて感じました。重大な事故の繋がりでフォークリフト勉強会では、乗らない人の危険予知や、乗っている人の死角などを知ることができ、自分たちが現場で重大な事故の加害者、被害者にならないための大切なことを学ぶ良い機会でした。私たちが作業をする現場は常に危険と隣り合わせということをもう一度理解し、この気持ちを10年20年経っても忘れず、安全で気持ちの良い業務を常に意識し、取り組んでいこうと思います。



出口学さん



寺村遼さん

大阪城ホール消防訓練の感想

訓練では消火器の正しい使い方や倒れた人の運び方など、消防や救助に関する知識を学びました。

また実際に消火器を使っていかに速く消火に当たれるかを参加者で競ったり、煙が充満した部屋に入って人を救助したりもしました。特に煙の中での救助の体験で感じたことは、煙が出ている出火現場では全く何も見えなかったり息苦しかったりで、人を救出するということは困難を極めます。

実際に出火事故が起きた時は、そのことをしっかり心において、火や煙をなめてかからないようにすることが非常に重要だと強く感じました。

今回の訓練では、火災を想定してアリーナから非難するというものでした。避難導線を確認しつつ行きました。大阪城ホールはステージの数がか所ではなく複数のステージ形態があるので、自分が大阪城ホールで舞台を担当したらそれぞれの避難パターンを知っておかないといけないことがわかりました。訓練を事前に行うことができたので、もしそのような場面に遭遇してしまったら自分が率先して誘導できたらいいと思いました。貴重な経験ができてよかったと貴重な時間が過ごせました。



藤井宏光さん



林梨絵さん